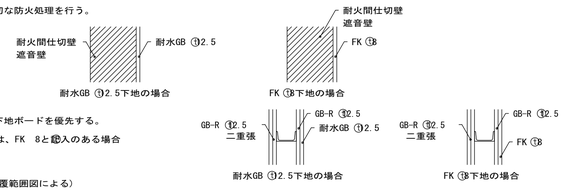
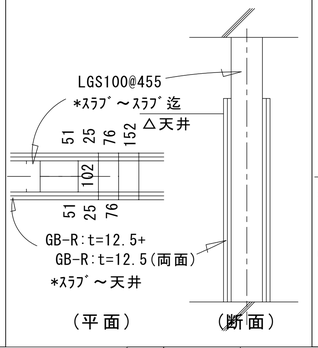
01 特記事項

1. 本リストは間仕切壁の仕上下地の仕様を示しており、仕上材の仕様は、仕上表又は、建築工事標準詳細図、部分詳細図による。
2. 一般間仕切壁は特記なき限り ▤W-1とする。又、壁は特記なき限り床スラブより天井スラブ又は、梁下までとする。(凡例参照)
3. 特記なき限り外周柱の下地の片面壁仕上下地はW-1とする。
4. 耐火間仕切壁は全て床スラブより天井スラブ又は梁下までとする。又、取合部、設備等貫通部は適切な防火処理を行う。
5. 4. 耐火間仕切壁,遮音壁に接する部屋の仕上で、仕上表に下地ボードが明記してあり、
かつ耐火間仕切壁,遮音壁上張の仕様と異なる場合は耐火間仕切壁の上に重ね張りとする。
<例>仕上表で耐水GB ⑫.5又はFK 8下地とあり、耐火間仕切壁に接している場合

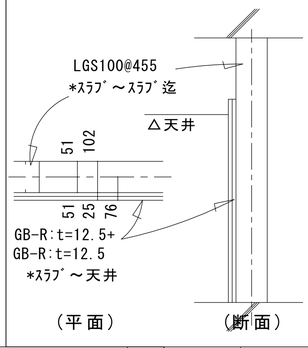


6. 一般間仕切壁で、仕上表に下地ボードが明記してある場合は上張のボードを仕上表に明記してある下地ボードを優先する。
<例>一般壁W-1で仕上表に耐水GB 12.5又は、FK 8と記入のある場合
7. 防火設備、特定防火設備戸(シャッターを含む)のある上部壁は耐火間仕切壁(F-11)とする。(耐火被覆範囲図による)
8. 間仕切壁は床、上階スラブ、梁との取合部は層間変位(1/200)に追従出来る工法とする。
9. 軽量鉄骨のスタッド寸法は有効高さ寸法により決定する。(下記部分詳細図-17参照)
10. 居室に面する軽量鉄骨間仕切り壁内には、壁面取付用金物補強下地材を合計3.000m見込むこととする。(設置場所については現場で調整)
設置箇所については、仕上表「本工事に含む」

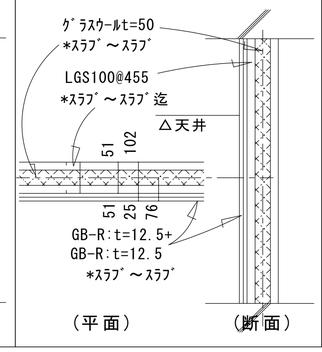
W-1 軽鉄間仕切壁(一般) 1/10



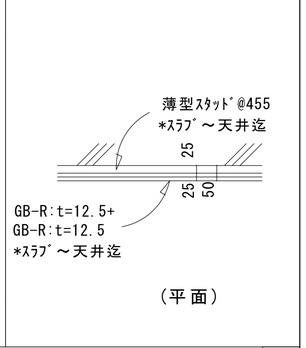
W-10 軽鉄間仕切壁(片面) 1/10



W-11 軽鉄間仕切壁(片面) 1/10

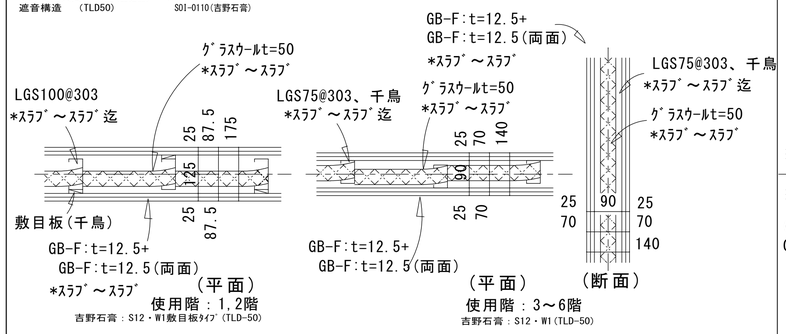


N-1 薄型軽量鉄骨壁 1/10



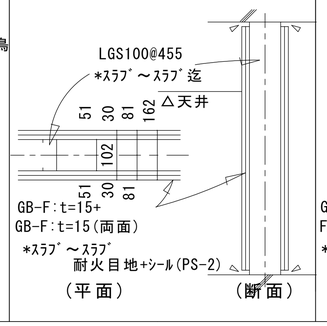
W-15 軽鉄間仕切壁(1時間耐火 遮音) 1/10

1時間耐火間仕切壁(認定品) FP060NP-0175(吉野石膏)
遮音構造 (TLD50) SOI-0110(吉野石膏)



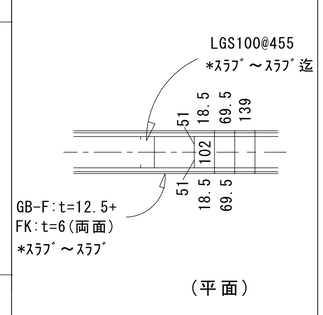
F-1 軽鉄間仕切壁(1時間耐火 一般) 1/10

1時間耐火間仕切壁(認定品) FP060NP-0174(吉野石膏)
吉野石膏:B15



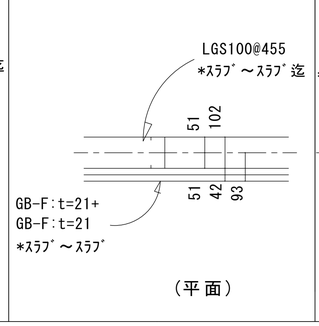
F-2 1時間耐火間仕切壁 1/10

1時間耐火間仕切壁(認定品) FP060NP-0321(ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ)
ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ:ﾊﾟﾗｯｸ耐火60-HL WC



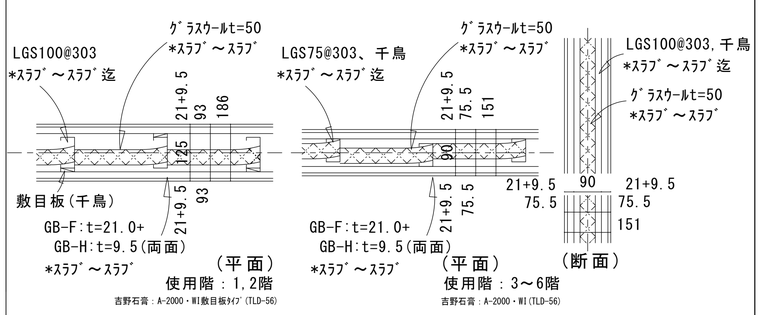
F-10 軽鉄間仕切壁(1時間耐火 片面壁) 1/10

1時間耐火間仕切壁 (認定品) FP060NP-0007(吉野石膏)
吉野石膏:Sｳｫｰﾙ(標準仕様)

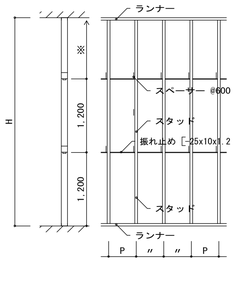


F-35 軽鉄間仕切壁(1時間耐火 遮音) 1/10

1時間耐火間仕切壁(認定品) FP060NP-0198(吉野石膏)
遮音構造 (TLD56) SOI-0112(吉野石膏)



17 軽量鉄骨壁下地仕様 1/50



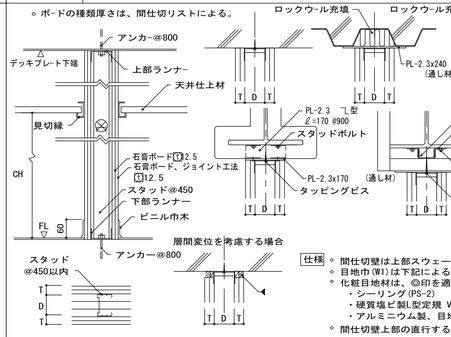
仕様

	部 材 表			
	H(m)	種類	スタッド [_]	ランナー ⊔
1	H≦3.7	65形	65x45x0.8	67x40x0.8
2	3.7<H≦4.0	75形	75x45x0.8	77x40x0.8
3	4.0<H≦4.5	90形	90x45x0.8	92x40x0.8
4	4.5<H≦5.25	100形	100x45x0.8	102x40x0.8

スタッドの間隔 P(mm)		
1～4	片面ボード2枚張	455
	片面ボード1枚張	303
5	片面ボード2枚張	303
	片面ボード1枚張	

19 軽量鉄骨間仕切壁(一般、非耐火間仕切壁の場合) 1/10 1/5

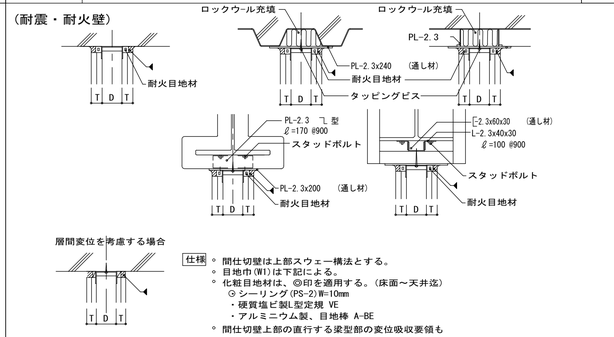
◦ ボードの種類厚さは、間仕切リストによる。



仕様
◦ 間仕切壁は上部スウェー構法とする。
◦ 目地巾(W1)は下記による。
◦ 化粧目地材は、◎印を適用する。(床面～天井迄)
・シーリング(PS-2)
・硬質塩ビ製L型定規 VE
・アルミニウム製、目地棒 A-BE
◦ 間仕切壁上部の直行する梁型部の変位吸収要領も本図に従う。

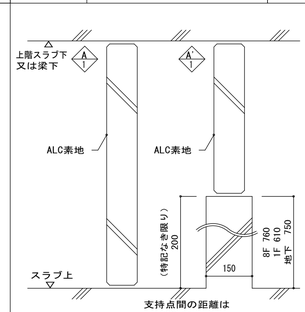
21 軽量鉄骨間仕切壁(耐震・耐火間仕切壁の場合) 1/10

(耐震・耐火壁)



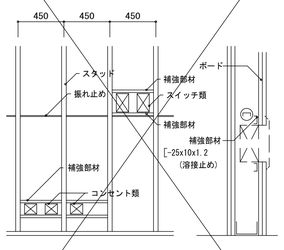
仕様
◦ 間仕切壁は上部スウェー構法とする。
◦ 目地巾(W1)は下記による。
◦ 化粧目地材は、◎印を適用する。(床面～天井迄)
◎ シーリング(PS-2)W=10mm
・硬質塩ビ製L型定規 VE
・アルミニウム製、目地棒 A-BE
◦ 間仕切壁上部の直行する梁型部の変位吸収要領も本図に従う。

A-1 ALC壁 (1時間耐火) 1/10



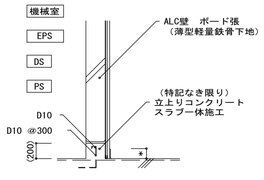
支持点間の距離は
4,100以内とする
超える場合は取付金物
又は鉄骨下地を設ける
(中間梁工法:メーカー仕様)

25 設備埋込ボックス類(スイッチ コンセント他)開口補強要領



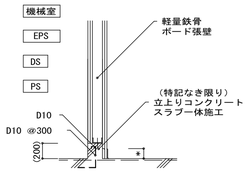
*W450:計2,300ヵ所
*H450:第2庁舎工事 計15ヵ所

26 機械室・EPS・PS・幅木周り 1/20



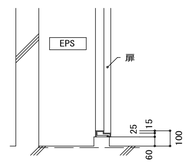
*は別図による。 ※鉄骨柱廻りにもH=200の立上がりを設ける。

27 機械室・EPS・PS・幅木周り 1/20

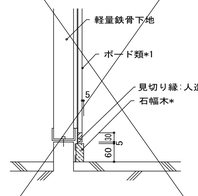


* は別図による。

28 EPS・床・幅木周り 1/20

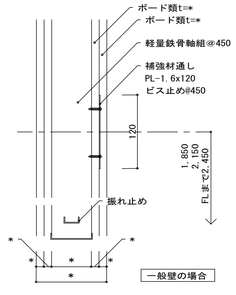


29 石幅木 1/10

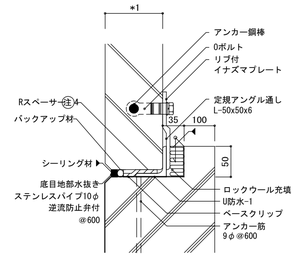


*上部壁が石仕上の場合は、木製見切縁は不要とする。
*仕様、仕上げは別図による。

30 軽量鉄骨間仕切壁 (額縁金物補強) 1/5

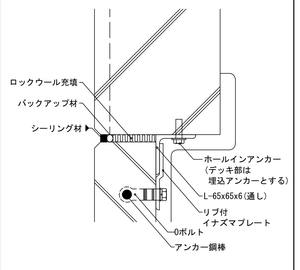


31 外壁ALCパネル (腰壁取合い部) 1/5



仕様 *1は別図による。

32 外壁ALCパネル (頂部取合い部) 1/5



着工	平成 28年 6 25		
竣工	令和 元年 11 30		
監理			監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体
施工			施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

完成図 意-121

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課					
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

部分詳細図－5

意 10－5

NO. 0－140004－B